

平成31年度事業計画書

I 肢体不自由児の福祉の増進を図る事業を実施する。

1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

(1) 「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「ゆーむとあーむのクリアファイル」等事業（継続）

予 算 660,000円 (30年度予算 1,000,000円)

社会福祉法人日本肢体不自由児協会及び各道府県肢体不自由児協会の主唱で、毎年11月中旬から1か月間全国一円に展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、肢体不自由児・者に対する理解及び療育思想の一層の普及促進を目的に寄付を募る。

例年、(福)日本肢体不自由児協会が作成した「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「ゆーむとあーむのクリアファイル」「ゆーむとあーむの折りたたみフォルダ」を寄付の返礼品としていたが、平成31年度から、クリアファイルについては当協会独自のクリアファイル(トッキッキのA4、A5クリアファイルの予定)を作成し、肢体不自由児・者への理解及び療育思想の普及啓発を図るとともに、事業財源の確保に努める。

返礼予定数

【日肢協作成】	友情の絵はがき	625 組 (30年度実績	824 組、29年度実績 744 組)
	愛の絵はがき	625 組 ("	517 組、 " 715 組)
【当協会作成】	A4クリアファイル	5,000 枚 ("	3,608 枚、 " 4,175 枚)
	A5クリアファイル	2,000 組 (" (折りたたみフォルダ	2,365 枚 " 2,787 枚)

※A5ファイルは2枚1組予定

【 収入 : 31年度予算額 1,261,600円 30年度予算額 1,243,500円 】

(2) 「愛のタオル」事業（継続）

予 算 10,149,000円 (30年度予算 7,400,000円)

肢体不自由児に対する理解及び愛護療育思想の一層の普及啓発を図ることを目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「愛のタオル」を配布し、肢体不自由児への理解と療育思想の促進を図るとともに、事業財源の確保に努める。

これまで、タオルを200円で返礼していたが、消費税増税に伴う仕入値の増加や、運送会社の送料の値上げ、振込手数料の増加のため1口250円で返礼することとする。

また、余ったタオルを翌年度150円で返礼していたが、在庫数より多くの申込みが

あり、収益に当たる金額が減ってしまうため、翌年割引で返礼するのを辞め、一定数在庫が溜まったらセットで割引して返礼することとする。(例：3本で500円など)

さらに、「愛のタオル事業」の案内を配布する際、当協会に関するアンケートを同封し、今後の協会に望むことや、返礼品として希望するものなどを調査することとする。

その他、これまでタオルの梱包作業をタオル業者に委託していたが、障害者雇用の促進も目的とし、梱包作業を福祉作業所に委託することとする。併せて、タオルや絵はがきの寄付の依頼文書やクリアファイルの封入作業も委託する。

返礼予定数 フェイスタオル 13,000本、手ぬぐいタオル 45,000本
(30年度実績 スポーツタオル 14,545本、手ぬぐいタオル 53,673本、
合計 68,218本)

【 収入 : 31年度予算額 17,410,000円 30年度予算額 12,930,000円 】

**(3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催事業
（「ふれ愛作品展」の開催事業（継続））**

予 算 294,000円（30年度予算 270,000円）

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、応募対象者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解と療育思想の促進を図る。

【新潟ふれ愛プラザ会場（新潟市）】

期 日：7月下旬～8月中旬（予定）

展示場所：新潟ふれ愛プラザ（予定）

展示作品：第37回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

【NEXT 2 1アトリウム会場（新潟市）】

期 日：8月下旬～9月上旬（予定）

展示場所：NEXT 2 1アトリウム（1F入口ホール）（予定）

展示作品：第37回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

(4) 援護活動等が顕著な者を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））

予 算 155,000円（30年度予算 120,000円）

肢体不自由児に対する援護、療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、障害にもめげず勉学や療育に励み、他の児童、生徒の模範となる肢体不自由児、肢体不自由児の友を助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒・学級、肢体不自由児の療育・指導に顕著な功績のあった者及び、肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研鑽の著しい者を表彰する。

被表彰者 各項目 2～3名程度（合計 10名程度）

表彰式 2～3月頃（予定）

場 所 新潟市内

2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業（継続））

予 算 915,000円（30年度予算 920,000円）

一般の高等学校に在学している肢体不自由児の就学活動を支援するため、奨学金を給付し（返済不要）、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成と家庭への援助を図る。

採用予定人員 15人（30年度実績 13人）

奨 学 金 1人 60,000円（30年度と同額）

振込手数料等 15,000円

3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業

(1) 肢体不自由児夏期訓練事業（継続）

予 算 351,000円（30年度予算 351,000円）

夏期期間を利用して肢体不自由児及びその保護者に集団生活の機会を与え、子ども同士の心のふれあいや親同士の親睦と正しい療育知識の取得の指導訓練を行う。

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に事業を委託する。

委託費 350,000円

通信運搬費等 1,000円

開 催 10か所で開催予定

(2) ボランティア講習会開催事業（休止）

予 算 0円（30年度予算 0円）

肢体不自由児等への理解の促進や、自立と社会参加の促進を進めるため、肢体不自由児を支援するボランティアの輪を広げることを目的として、大学短大及び高等学校の学生に周知しての講習会を実施していたが、参加人数の減少に伴い休止中。

なお、県内のボランティアコーディネーターの養成、災害時のボランティア募集、ボランティア講座の講師のコーディネート等については、（福）新潟県社会福祉協議会を通じて、新潟県ボランティアセンターが活動している。

(3) 「ふれあいの集い」開催事業（継続）

予 算 354,000円（30年度予算 353,000円）

在宅の肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的にスポーツ教室やレクリエーション等を行う。（車椅子バスケットボールの大会や障害者スキー教室を開催予定）

開 催	年 2 回（車椅子バスケットボール 1 回、スキー教室 1 回）
参加予定者	各 50 人程度（ボランティア、介助者含む）
開催場所	選定中

(4) 肢体不自由児休日等支援事業（継続）

予 算 147,000円（30年度予算 150,000円）

在宅の肢体不自由児が休日や長期休暇期間において、自主性・社会性等を培う場を提供し、有意義な休日を送れるよう、大学生などのボランティアが企画・運営するレクリエーションを開催し、在宅の肢体不自由児を支援する。併せて、保護者に対して、介護からの解放等による疲労の回復や社会参加の促進を図る。

開催回数	年 6 回（30 年度 6 回）
会 場	県立東新潟特別支援学校、北地区コミュニティセンター、 新潟ふれ愛プラザ など

4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

(1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業（肢体不自由児激励事業（継続））

予 算 453,000円（30年度予算 379,000円）

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

交付予定 12 団体 （30 年度実績 11 団体）

1 団体当たり 37,000 円以内（30 年度と同額）

振込手数料等 9,000 円

(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業（学生ボランティアサークル助成事業（継続））

予 算 155,000円（30年度予算 255,000円）

主に肢体不自由児を対象にボランティアで支援活動を行っている学生ボランティアサークルに対し活動費の助成を行い、肢体不自由児の援護の活性化を図るとともに、学生ボランティアサークルの強化を図る。

交付予定 3 サークル （30 年度実績 2 サークル）

1 サークル当たり 50,000 円以内 （30 年度と同額）

振込手数料等 5,000 円

(3) 障害者スポーツ参加促進事業

予算合計 1,235,000円（30年度予算 1,516,000円）

ア スポーツ大会観戦等に助成する事業

予 算 30,000円（30年度予算 10,000円）

障害のある者とその介護者等にアルビレックス新潟のサッカー観戦チケットを無償で配布し、スポーツへの関心を育み、スポーツに対する意欲の促進や障害者の積極的な社会参加を促進する。

イ スポーツ用品等購入に助成する事業

予 算 1,205,000円（30 年度予算 1,506,000円）

障害者が利用可能なスポーツ施設（社会福祉施設を含む）や障害者の支援団体、NPO 法人などに対して、肢体不自由児・者が参加資格のあるスポーツに係る用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの啓発・普及を図るとともに、障害者スポーツへの参加促進を図る。

交付予定 12 団体 (30 年度実績 12 団体)
1 団体当たり 100,000 円以内 (30 年度予算 1 団体当たり 100,000 円)

(4) 肢体不自由児関係団体支援事業 (継続)

予 算 471,000円 (30年度予算 220,000円)

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部等に対して活動費等の助成を行い、団体の活動強化、育成強化を図ることにより、肢体不自由児への支援を促進する。

また、社会福祉法人日本肢体不自由児協会を通じて、高野山真言宗から車いす寄贈先の募集があった場合、関係施設等へ希望を取り、車いすを寄贈する。寄贈の選考に漏れた施設に関しては、子ども用車椅子を1台5万円を上限として購入助成金を交付することとする。

助成額	(社) 日本筋ジストロフィー協会新潟県支部	150,000 円
	車椅子寄贈希望先 (子ども用車椅子 5 万円×6 施設)	300,000 円
振込手数料等		21,000 円

(5) 社会参加交流体験研修事業 (継続)

予 算 71,000円 (30年度予算 61,000円)

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会が、肢体不自由児者の社会参加促進、社会交流の向上を目的に行う研修会に対して助成し、社会参加、社会交流の一層の向上を図る。

開催回数	年 1 回
会 場	選定中 (30 年度「上越市市民交流施設 高田公園内「オーレンプラザ」)
助成額	70,000 円 (30 年度助成額 56,293 円)
振込手数料等	1,000 円

Ⅱ 役員会等

- 1 監事会 監事会は 5 月に開催し、決算の監査を行うほか、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5 月に決算、3 月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
- 3 評議員会 5 月に決算審議の定時評議員会、3 月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員の選任など必要に応じ随時開催する。

Ⅲ その他法人会計に関わる事業

公益財団法人新潟県肢体不自由児協会HPの管理（継続）

予 算 118,000円（30年度予算 102,000円）

当協会の HP を随時更新し、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び愛護療育思想の普及に努める。

URL: <http://www.shinshikyo.org/>

メールアドレス: sinsikyou@r3.dion.ne.jp